

コロナに起因する生活環境の變化

あかたにけいこ
赤谷慶子

世界中を震撼せしめたる新型コロナウイルスにより、人々の生活様變はりしたり。よもやマスク姿日常になるとは何人にとりても想定外なり。そもそも日本においては花粉症及びインフルエンザ等風邪流行る季節にマスク姿は日常的にて、海外とは比較する能はざるほど生活に密着したり。従ひて、マスクつくるは日本人にとりてさほど抵抗感なし。ただ、眞夏の、特に日本特有の高き濕氣の中、マスクはかなり厄介なり。愛犬との散歩は毎朝五時半と定めたるが、我家の愛犬はかなり元氣にて歩むペース疾し。従ひて二十分経過すると汗をかく、特に鼻の周りはいみじきものにて、滴り落つ。徐々に息苦しくなる。マスク下にずらし顎にかけて歩む。向うより人くるとマスクを上ぐ。これにてなほ氣温が上がればいかなることにならんやと思案す。散歩を繰り上げ五時にせんや。コロナ自肅によりて早朝歩む人多くなりたりや、げによく人に出會ふ。向うもマスクを下げて來り、こちらを見てマスクを上ぐる動作をす。苦笑ひしながら下を向いて行き交ふ。

濃厚接觸を避けんがため美容院に行くを得ざれば、髪伸び切り、我慢の限界に至り美容師に連絡をしき。向うも心得て、定休日なる火曜日に予約を設定。貸し切り状態にて髪を切る。この美容師の上司とはかれこれ四十年以上の付き合いなれど、数年前腰を傷め六本木ヒルズ向ひの美容室を閉めたり。愛弟子の若き男子に代はれど、青年美容師は固定費かかる己の店を持つ事叶はず、知人の美容院の一席を時間借りして作業す。然るに、このコロナ騒動にて美容院の多くは開店休業同様になりて、美容院の席を時間貸しする美容室多くなりけりと青年のたまふ。仲業者もかなり増え、顧客の自宅近くの美容院を借りて營業する美容師増えつつあり。自由が丘、目黒、中目黒、いづれ便よきかと聞いてきたり。以前のごとく顧客美容院へ赴くにあらで、美容師顧客の自宅近くの美容院へ行き接客すとの謂ひなり。便利なりや否や未だ不明にて、コロナによる末端經濟への影響は避けられず。畢竟様々なる業種で従來の形態とは變はり來たれるが如くに思はる。かくのごとき變化は隔々にて進み、社會全體これまで常識より様變はりせんとの豫感あり。

(令和二年七月二十九日受附)

